



／ さあ、でかけよう ／

ふるさと探しの旅へ。

ふるさと

～あなたの『故郷と呼べる場所』を見つけに行こう。～

栗原市では、地方移住を検討されている方に対して、『オーダーメイド方式』の「いつでも・お試し感覚」移住体験ツアーをご案内しています。栗原という一つの田舎まちの空気感や風土、ここで暮らす人々との出会いを通して、あなたの「故郷と呼べる場所」を探してみませんか。



6/28 (THU)

先輩移住者・地方移住相談者の出会いの場 2018 くりはら移住者交流会

- 時間 18:30～20:30 □会場 栗原市築館地区内
- 会費 3,000円 □要申込

栗原市内には、多くの先輩移住者の皆さんが暮らしています。ピアニスト、シャーベット店経営、陶芸家、トマトハウス経営、カフェ経営、起業家の方など。暮らす地域も業種も皆さん、さまざまです。

この交流会は、何かしら縁あって栗原に移り住んだ皆さんや地方への移住を検討されている方との「コミュニティの場」として昨年からの定期的開催しています。

「もしかしたら〇〇ができるかも!!」を見出す機会

先輩移住者の皆さんとの語らいの中から、あなた自身の「もしかしたら〇〇ができるかも!」という地方暮らしの可能性を見出す機会になるかもしれません。

今回(6月28日)の交流会も栗原に限らず、地方への移住を検討されている方ならどなたでも参加できます。

今回の交流会では本年3月までみやぎ暮らし相談センター(有楽町)の移住相談員として活躍された松尾美幸さんをゲストスピーカーとしてお招きし、相談窓口から見えたことなどをお話していただきます。全国的な流れや、多くの相談事例の経験を持つ松尾さんだからそのアドバイスもお聞きすることができるかもしれません。



漠然・曖昧だからこそ、踏み出してみよう

これまでお試し移住体験に訪れてくれた方々を見ると、地方移住の暮らしについて、「まだ漠然なんですけど…」。「ちょっと曖昧なんですけど…」という方が多いように思えます。

きっとそれが自然なことで、正直な気持ちなんだと思います。漠然だから、曖昧だからこそ一歩踏み出してお試し感覚で「ふるさと暮らし」を体験することをおすすめします。

市役所職員では到底伝えきれない、移住を決断された先輩移住者の生の声は「共感・共鳴」というカタチであなたの心に響くことでしょう。

本当に自分がしたい暮らし、 『あなたらしい暮らし』を見つける機会

東北の田舎まちの空気感や、ここで暮らす決断をされた先輩移住者、ずっとここで暮らし続けてきた地域の方々との出会い・語らいの中から、これまで何となく漠然としていた自分自身や家族の「故郷と呼べる場所」が見えてくると感じます。

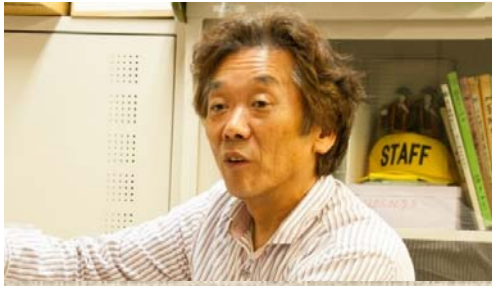
逆に、今まで曖昧に田舎暮らしを夢見ていた部分の「違和感」を実感できる機会になるかもしれません。

「お試しふるさと暮らし体験」を通して自分自身が本当にしたい、これからの「あなたらしい暮らし」を見つける機会となるよう、私たちはいつでもサポートさせていただきます。



おもい
地域の郷土愛と熱意がつなぐ。子どもたちの未来へつなぐ。

目指すは 奇跡なんかじゃない、地域おこし。



花山地区「小さな拠点」づくり推進協議会
事務局長 佐々木 徳吉 氏

栗原市の西端、栗駒山（奥羽山脈）の麓に位置する花山地区。国有林が大半を占め、美しい自然が広がるのどかな中山間地域です。主産業は農林業と観光業。温泉のほか、自然薯や蕎麦などの特産品が魅力の地域です。花山地区の人口は約1,060人。昭和30年代のダム建設に伴い人口減少が加速。さらに平成20年に発生した岩手・宮城内陸地震、平成23年東日本大震災の影響により人口減少に拍車がかかりました。

そんな地域で、今、地域住民が主体となった「将来にわたって暮らし続けることができる地域づくり」に取り組んでいます。

この取り組みを支えるキーマンのインタビューをもとに、花山地区の今をお伝えします。

これからもずっと 花山に住み続けたい。

僕たちが暮らす花山地区の人口は約1,060人。高齢化率はほぼ50%。2人に1人が65歳以上という地域です。地域から若者が減り、高齢の一人暮らし世帯の増加や通院などの足の確保、買い物困難者の問題など、住み慣れたまちで暮らし続けることへの不安を持つお年寄りも増えてきました。

花山の豊かな自然と共存する中で、昔から現在に受け継がれてきた豊かな暮らしを守り、この地で育まれてきた文化や風土を次の子どもたちにつないでいきたい。

『これからもずっと、花山に住み続けたい。』そんな住民の想いが、持続する地域づくりに向けた『小さな拠点づくりプロジェクト』というカタチに変わって、今、僕たちは動いています。

住民主導の『小さな拠点づくりプロジェクト』

このプロジェクトは、道の駅や診療所、公共施設などが集まる座主（ぞす）集落を花山地区の拠点と位置づけ、地域が抱えるさまざまな課題の解決に向けて、地域自らが主体となって取り組んでいこうとするものです。

2015年から2年間、国の補助事業を活用して、将来に向けた構想づくりや地域内デマンド交通サービスの実証実験を手探り状態で行いました。この2年間の集大成として開催した「小さな拠点づくりシンポジウム」では、地域住民だけでなく、県内外から多くの皆さんが集まってくれました。

人口1,000人の地域シンポジウムに、200人超の方が集まったんだから凄いじゃん。そんなイベントを住民みんなが成功させたっていうのは大きなきっかけになったと思います。



若者・移住者を巻き込んだプロジェクトの企画・運営

昨年からは、地域への新たな人の流れをつくるきっかけの一つとして、「移住体験ツアー」を実施しています。もちろん今年も開催します。（夏・秋の2回開催を予定。）

まずは夏プランとして8月3日～5日に開催する「かがやく女性たちと過ごす花山いなか時間 2018夏」。ネーミングが素敵じゃん。このツアーの企画・準備をプロジェクトチームで進めていますが、メンバーとして協議会役員だけでなく、若い世代や移住されてきた方なども参加してくれています。



ツアーの実行も確かに重要ですが、こんな機会（プロセス）をつくれていることが僕はもう嬉しくて仕方ないです。素敵でしょ。

移住希望者のための 空き家の掘り起こし

そして、今、僕らが進めようとしているのが、地域の空き家の持ち主らと一緒に整理して、賃貸物件に蘇らせる新プロジェクト「空き家片づけ隊」です。

花山地区への移住を促す受け皿をつくらうと、優良な物件を一つでも多くストックし、田舎暮らしを希望される人たちを呼び寄せられたら、と考えています。

どんなに花山に関心を持ってくても、いざ、住む家を紹介できないのでは意味がないですね。



地域づくりに関わってくれる新たな移住者のために、一つでも多くの空き家物件を地域で掘り起こしていきたいと思います。

かがやく女性たちと過ごす
はなやま
花山いなか時間
2018夏

のんびり
ゆったり

のんびり、ゆったり。そんな花山の時間を過ごしてみませんか。

実施期間 **8月3日(金)～5日(日)【2泊3日】**

実施場所 **宮城県栗原市 花山地区**
【宿泊場所:栗原市移住体験住宅】

参加費用 【宿泊料】無料 【体験料】16,000円～
【交通費】栗原市までの交通費は自己負担

申込み先・
お問い合わせ先

体験ツアーの詳細については、お気軽にご相談ください。
花山地区「小さな拠点」づくり推進協議会(事務局:佐々木・村山)
TEL:0228-43-5111
E-mail:furusato@piano.ocn.ne.jp

ご家族
2組限定!!

応募期限 **7月27日(金)**

※定員になりたい締め切りとなります。

はなやま 花山 地域づくり レポート



ヒト・モノ・コトが動くことで、ココロが動く

僕たちの活動はまだまだ試行錯誤しながら進めている状態です。でも地域の実情を考えた時、僕らに立ち止まっている時間はないですね。だからこそ、常に走りながら考えている。

そんな花山地区の取組みに対して、地域内の人だけでなく、「ふるさと」に想いを寄せてくれる方々や、プロジェクトそのものに賛同してくれる方などが少しずつ増えてきています。ヒトやモノ、コトが動くことにより、ココロが動く、つながっていく、そんなことを実感しています。

人と人の縁のつながり ~関係人口→定住へ~

花山地区へのIターン・Uターンといった動きも現れ始めています。ただ、僕たちが気をつけなければいけないのは、移住に至る動機っていうのは人それぞれ多彩であるということです。

それだけ、移住へのステップのバリエーションも多岐にわたっていて、だからこそ、移住への過度な誘導であったり、早期の期待というものも極力避けなければならぬと感じています。まずは移住体験ツアーなどをきっかけに、僕たちと関わる価値



みたいなものを感じてもらい、人と人の縁（関係性）をつないでいく中で「花山への移住もありかな。」みたいに思ってもらえたら嬉しいですね。

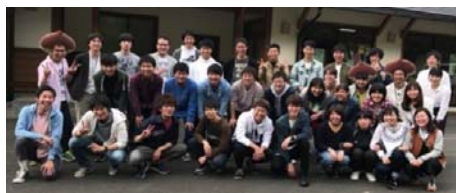
都市部の学生とのゆるやかなつながり→関係人口へ

ここ数年、花山地区の取組みをメディアで取り上げていただく機会も多くなってきています。丸森町の筆甫か花山ぐらい。そんな影響もあってか先日東北大学のボランティアサークルが研修に来てくれたり。移住に直接つながるものではないかもしれませんが、学生たちが僕たちの活動を通して「関係人口」としてつながってもらえたら素敵ですね。

花山オリジナルの『地域づくり』への挑戦

走りながら考えてるってお話したとおり、本当にこれが正しいのか正直分らない。不安も常に感じている。うちの市役所だって、花山地区が活性化できたら奇跡でしょって感覚かもしれません。

でもね、僕は信じたいんですね。今、僕は奇跡が起きるのを待っているわけじゃない。きっと僕らはできると信じている。



花山の住民たちにはできない地域づくりに挑戦していきます。地域では僕も若手の部類ですから。まだまだ頑張りますよ。

突撃



わかもの移住者 インタビュー

湖畔のみせ 旬彩 店長 武田賢治さん・スタッフ 下山はるなさん

下山

仙台市出身で、大学を卒業を機にこの4月に花山に移住しました。就職を考えた際に、若い人や起業したいという意欲を持った人を集めて、地域を活性化したいという気持ちをお聞きし、自分自身が将来やりたい夢の方向性が一致したので、花山への移住を決めました。

武田

去年から勤務していたんですが、以前は仙台から通ってました。この春からはお店での立場も変わったので、花山の空き家を借りて移り住んでいます。

武田

お店のメニューも去年とは変えているので、ぜひ気軽に立ち寄ってほしいです。

下山

イワナの押し鮭も美味しいけど、野菜カレーもオススメです。

下山

花山の印象？花山は人とのつながりが強いなぁと感じました。まだ移ってそんなに月日も経っていないのに、地元の集まりにも呼んでもらったりしています。

下山

先日、花山の若者会を開いてスゴく楽しかったです。こういう会が少しずつ広がっていったらいいなぁと思います。



2018年 イベントスケジュール

6/17 (SUN) 第2回みやぎ移住フェア
 □時間 11:30～14:00【入場無料】
 □会場 有楽町:東京交通会館 8F

▽「子育て環境」をテーマに東北エリアの7つの自治体が集合！お気軽にご参加ください。

**6/30 (SAT) 仙台駅発着の農業体験バスツアー
ふさすぐり収穫・加工体験**
 □集合時間 8:15【要申込】
 □集合場所 JR仙台駅東口

▽花山地区の特産品ふさすぐりの収穫・加工やこんにゃくづくりを体験！

7/15 (SUN) 東北U・Iターン大相談会
 □時間 11:00～17:00【入場無料】
 □会場 有楽町:東京交通会館 12F

▽東北6県の自治体が一堂に集合！
 ▽先輩移住者を囲んだ座談会もあります。

8/3 (FRI) 第3回みやぎ移住フェア
 □時間 17:30～20:00【入場無料】
 □会場 有楽町:東京交通会館 8F

▽「地域おこし協力隊」をテーマに県内の7つの自治体が集合！お気軽にご参加ください。

※各イベントの詳細については、お気軽にお問い合わせください。(定住戦略室)

6/28 (THU) くりはら移住者交流会
 □時間 18:30～20:30【要申込】
 □会場 栗原市築館地区内

▽市内の先輩移住者や地方移住を検討されている方などの交流会。参加希望はお早めに！

6/30 (SAT) 伊豆沼れんこんくらぶ③
 □時間 10:00～12:30【要申込】
 □会場 栗原市伊豆沼のほとり

▽特産品「れんこん」の種植えから収穫までの体験プログラム第3弾!!【草取り・草刈作業】

**8/3～5 かがやく女性たちと過ごす【要申込】
花山いなか時間 2018夏**
 □期間 8月3日(金)～5日(日)
 □会場 栗原市花山地区

▽花山地区の空気感や農業・食文化など、地方暮らしを体感できるおとし移住ツアーです。

8/4 (SAT) 伊豆沼れんこんくらぶ④
 □時間 10:00～12:30【要申込】
 □会場 栗原市伊豆沼のほとり

▽特産品「れんこん」の種植えから収穫までの体験プログラム第4弾!!【はすのお花見会】

そうだ、栗原に行こう!
移住者交流会 Vol.3
 先輩移住者・地域の人。移住検討者。交流の場
 移住検討者の方(栗原市外在住の方)も限定2組募集します。ご興味のある方はお問い合わせください。
 日時:平成30年6月28日(木) 18:30～20:30
 場所:黒沢漁店 (住所:宮城県栗原市築館伊豆沼1丁目1-45-6 TEL:0228-22-3246)
 会費:3000円(税込)
 交通費:自己負担
 宿泊先:自由(栗原市移住生活体験住宅もご利用いただけます。※利用者が多い場合は共同でご利用いただきます。)
 主催:栗原市地域おこし協力隊 村山・澤原

Myれんこんを育てよう!!
れんこんくらぶ
 2018年 5月～10月(全6回)
 (会場) 宮城県栗原市伊豆沼のほとり
 (定員) 10人程度 (参加費) 10,000円(参加費)
 栗原市れんこんの産地から、伊豆沼のエコツアープログラム
 栗原市の特産品「れんこん」の種植えから収穫までの体験プログラム第4弾!!【はすのお花見会】
 1回:5月19日(土)10:00～12:30 2回:6月16日(土)10:00～12:30 3回:7月14日(土)10:00～12:30 4回:8月11日(土)10:00～12:30 5回:9月8日(土)10:00～12:30 6回:10月6日(土)10:00～12:30
 参加費:10,000円(参加費) ※交通費は別途負担
 定員:10名程度(男女別) ※申し込みは先着順
 申込期間:5月15日(火)～10月5日(金) 申込締切:10月5日(金)18:00
 申込先:栗原市移住生活体験住宅(住所:栗原市伊豆沼1丁目1-45-6) TEL:0228-22-3246
 申込方法:お申し込みは、お電話またはお申し込み用紙にて
 問い合わせ先:栗原市移住生活体験住宅(住所:栗原市伊豆沼1丁目1-45-6) TEL:0228-22-3246
 主催:栗原市地域おこし協力隊 村山・澤原

交通アクセス

【JR東北新幹線】
 東京駅 → 仙台駅 (最短21分) → くりこま高原駅 (最短46分) → 盛岡駅 (最短1時間55分)
 最短1時間55分

【東北自動車道】
 南北に2つのインターチェンジがあり、市外への移動もスムーズ
 ■ 築館IC→仙台まで約45分(60km)
 ■ 若柳金成IC→盛岡まで約1時間25分(110km)

【レンタカー(くりこま高原駅)】
 ■ 駅レンタカー(くりこま高原営業所)
 ■ トヨタレンタリース宮城くりこま高原駅前店
 ■ ニッポンレンタカー(くりこま高原駅東口営業所)

移住定住フォーラム

日時 7月9日(月) 13:30～16:30
日時 栗原市 この花さくや姫プラザ 多目的ホール (宮城県栗原市志波姫沼崎南沖452)
内容 **定員** 200人

- 基調講演
 講師 やまなし暮らし支援センター 移住相談員 倉田貴根さん
- パネルディスカッション

※どなたでも聴講いただけます
 申込み・お問い合わせは、定住戦略室にご連絡ください。

移相 談住 私たち、くりはら移住定住チームが
ご相談に対応します!!

地方移住を考えている方が思い描く新たな生活が、より豊かなものになるように。
 相談会での出会いをきっかけに、継続的に相談対応・各種情報提供させていただきます。
 (鈴木・二階堂・松・阿部)



移相 談住 宮城県の移住相談窓口
みやぎ移住サポートセンター

当センターでは、地方での暮らし・住まい・しごとの総合窓口として、相談者のご要望に応じて県内自治体につなげてくれます。
みやぎ移住サポートセンター(東京交通会館8F)
 ▽移住・就職相談員: 佐藤さん・長谷川さん
 ▽お問い合わせ先: Tel 090-1559-4714
 E-mail miyagi@furusatokaiki.net
 ▽定住日: 月曜・祝日及び夏季・冬季休業



発行元 宮城県栗原市 企画部 定住戦略室
 問い合わせ先 TEL 0228-22-1125
 Email teijyusokushin@kuriharacity.jp

来てみらいん。栗原 **検索** ビックりはら。 **検索**
 June 2018 Kurihara Newsletter 4